

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 10月物価オルタナティブデータ～日経CPINow)

2024/11/29

りそなホールディングス 市場企画部

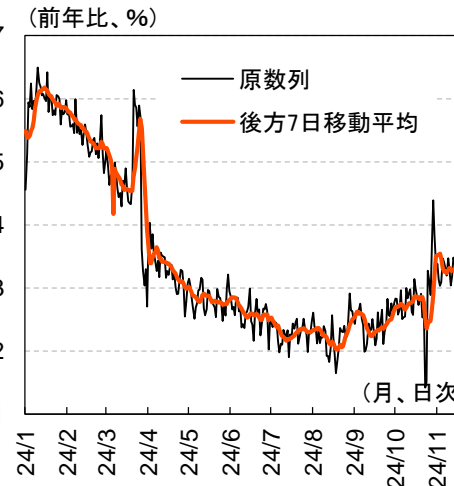
担当: 渋谷 和樹



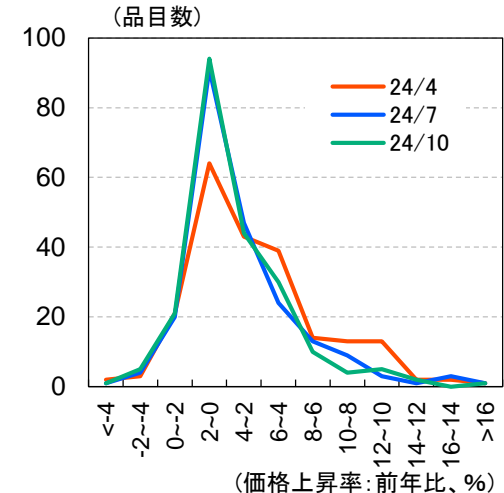
◎コメ高騰が主導し食料インフレ上昇傾向が鮮明に

- ▶ 我が国の食料や日用品に関する物価動向を確認する高頻度データとして、全国のスーパーマーケットなど小売店のPOSデータをもとに作成されるナウキャスト社の日経CPINowがある。同指標によれば、物価上昇率は10月は上昇が継続し、3%台を回復した(図表1)。また、品目別に物価上昇率の分布を確認すると、上昇率は加速しているにもかかわらずここ3か月で分布にほとんど変化がみられない(図表2)。これは、穀類などウエイトの大きい一部の品目の価格上昇が全体をけん引していることが理由とみられる。ただし、日次データではここ数日、価格上昇する品目数の増加が確認でき、価格上昇の波は一部品目にとどまらないことが示唆される。
- ▶ 次に、日経CPINowをCPIの食料項目(生鮮食品と外食を除く)と比較すると、最新のデータにおいても両者の動きは概ね一致する。23年をピークに低下傾向が続いていたが24年半ばに底打ちし、10月は先月に引き続き上昇率が拡大した(図表3)。過去の事例を見ると為替変動は物価変動に1年程度先行していることから、24年の大幅な円安進行の影響が一部足元の食料物価上昇率加速に反映されているとみられる。
- ▶ CPIの食料項目が全体の変動にどの程度影響するかを確認するため、生鮮食品を除くCPI総合(コアCPI)変化率を寄与度分解した(図表4)。コアCPI構成品目のうちエネルギーの下落をサービスや生鮮・外食除く食料が穴埋めしている格好だ。日銀10月会合での主な意見では、コメの値上がりの影響で食料物価が上振れていることや、輸入物価の下げ止まりから1年半が経ちCPIの下落圧力が剥落しつつあるとの見方が示され、概ね上記で述べたことと整合的だ。
- ▶ 直近数日の推移をみると、前年を上回る規模の11月価格改定の影響もあって上昇率の加速基調が継続している。8月に底を打って上昇し始めた当初はコメなど一部ウエイトの大きい品目の影響が大きかったが、足元では幅広い品目に価格上昇が波及してきている。物価の上振れリスクは高まりつつあると判断でき、12月会合での日銀による追加利上げの確度が増していよう。

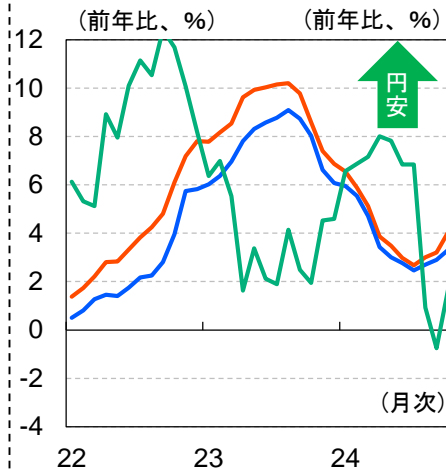
【図表1: 日経CPINow日次推移】



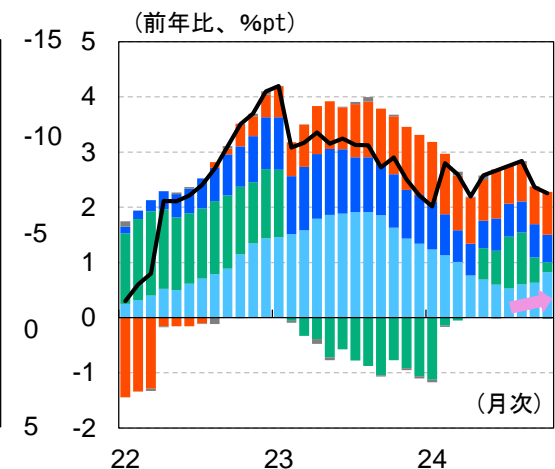
【図表2: 日経CPINow品目別上昇率分布】



【図表3: 日経CPINowとCPI食料】



【図表4: コアCPI変化率の寄与度】



— CPI(生鮮・外食除く食料) ■ 誤差
— 日経CPINow(食料) ■ 財
— 名目実効為替レート(右軸) ■ サービス
■ 食料(生鮮・外食除く) ■ エネルギー
— 生鮮除く総合 ■ 生鮮除く総合

出所: 株式会社ナウキャスト『日経CPINow』、総務省『消費者物価指数』、Bloomberg

注: 図表3のCPI(生鮮・外食除く食料)は2014年の消費税増税の影響を除く処理を行っている。また、日経CPINow(食料)は、日経CPINow全品目のうち食料項目のみ集計したものを使用している。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 10月物価オルタナティブデータ～日経CPINow)

■バックナンバー (直近発行レポート30本)

No	発行日	テーマ	タイトル
91	2024/10/3	欧州経済	9月ユーロ圏物価動向
92	2024/10/4	日本株	日本株需給(9月24日～9月27日)
93	2024/10/7	米国経済	9月雇用統計
94	2024/10/11	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly (2024年10月)
95	2024/10/11	米国経済	9月CPI
96	2024/10/11	コモディティ	9月WTI原油先物価格
97	2024/10/11	日本株	日本株需給(9月30日～10月4日)
98	2024/10/18	豪州経済	10月豪州概況
99	2024/10/18	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
100	2024/10/23	欧州経済	10月ユーロ概況
101	2024/10/30	日本経済	9月物価オルタナティブデータ～日経CPINow
102	2024/10/30	日本経済	9月賃金オルタナティブデータ～HRog賃金Now
103	2024/11/1	欧州経済	ユーロ圏GDP統計
104	2024/11/1	日本株	日本株需給(10月21日～10月25日)
105	2024/11/5	日本株	日本株 10月セクター動向と11月見通し
106	2024/11/5	米国経済	10月ISM製造業景況感指数
107	2024/11/5	米国経済	10月雇用統計
108	2024/11/5	日本株, 米国株	11月日米株バリュエーション～日本：中立、米国：強気
109	2024/11/5	欧州経済	10月ユーロ圏物価動向
110	2024/11/8	米国経済	11月FOMC
111	2024/11/8	米国政治, 米国株	2024年米大統領選挙結果のマーケットへの影響
112	2024/11/11	日本株	日本株需給(10月28日～11月1日)
113	2024/11/11	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly (2024年11月)
114	2024/11/14	米国経済	10月CPI
115	2024/11/14	コモディティ	10月WTI原油先物価格
116	2024/11/14	豪州経済	11月豪州概況
117	2024/11/15	日本株	日本株需給(11月5日～11月8日)
118	2024/11/22	欧州経済	2024年第3四半期ユーロ圏賃金動向
119	2024/11/22	米国株, 日本株	エヌビディアの決算とマーケットへの影響 2025 3Q
120	2024/11/22	日本株	日本株需給(11月11日～11月15日)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。